

予防が最良の方法

犬フィラリア症

犬フィラリア症予防薬（経口剤）を、
毎月1回、1カ月間隔で
摂取させることにより予防できます。

投薬期間

犬フィラリア感染開始1カ月後から感染終了1カ月後まで
たとえば・・・4月～11月に蚊が発生する（感染期間）場合



途中の投薬やシーズン最後の投薬を忘れてしまうと、
犬フィラリア症に感染してしまう危険性が高まります。
たった1回投薬を忘れてしまうことで心臓への寄生を
許してしまうことになるかもしれないのです。

犬フィラリア症の予防薬は
獣医師の指示通りに
忘れずに投与しましょう。

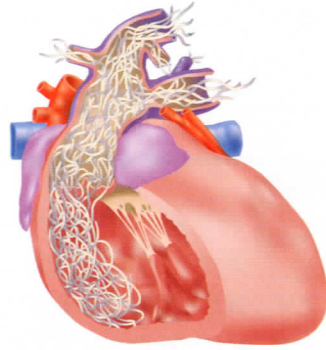
投薬日を忘れないために

（ 毎月の投薬日を
メールでお知らせします。 ）

カルドメック投薬日お知らせサービス
<http://www.merialclub.jp/reminder/>
 (登録・ご利用は簡単、しかも無料!パソコン・携帯からどうぞ)

「犬フィラリア症」って？

- 蚊が媒介する代表的な犬の病気です。
- 犬フィラリアが肺動脈や心臓に寄生することにより発生します。
- 犬フィラリアは成虫になると最大30cmにもなる糸状の寄生虫です。
- 多数寄生することで血液の流れが妨げられ、様々な障害が発生し、放置することで死に至る場合もあります。



これが犬フィラリア症の主な症状です。

犬フィラリアの寄生があっても、症状が見られない場合があります。

- 咳がでる
- 元気がない
- 食欲がない
- お腹が膨らんできた
- 呼吸が苦しそう
- 尿が赤くなる



治療には危険や負担が伴います。

- 薬で駆除 ▶ 成虫が心臓で死ぬと血管に詰まったりして重篤な症状となることがあります
- 手術 ▶ 首の血管から特殊な器具を挿入して、心臓から成虫を取り出します。
- 対症療法 ▶ 積極的な駆除をせず、症状を軽減する処置をします。

大切な家族を、
犬フィラリア症から
守りましょう。



犬フィラリア症予防と一緒に
消化管内線虫駆除。

大切なのは「検査」と「予防」



犬フィラリア症予防の前には 検査が必要です。

なぜ検査が必要なの？予防薬を投与する際には犬フィラリアが寄生していないことを確認する必要があります。また症状が分かりにくい犬フィラリア症の初期の診断には、検査が不可欠です。

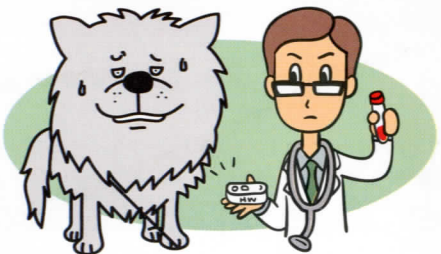
感染している状態で 予防薬を与えることは危険です。

犬フィラリア成虫より産出されるマイクロフィラリアが、犬の体内にいないことを知らずに予防薬を飲ませた場合、一度に大量のマイクロフィラリアが駆除されることでショック症状を起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。



どんな検査をするの？

犬の血液を検査することで、犬フィラリアの寄生の有無を確認します。現在は検査キットを用いて、簡単に犬フィラリア抗原を確認することができます。



犬の消化器官に 寄生する回虫、鉤虫を駆除します。

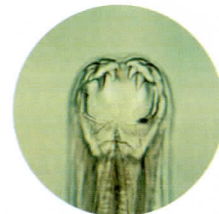
犬回虫

- 成虫が腸管内に寄生し、幼虫は犬の体内を移行します。
- 犬回虫は口からだけでなく、母犬の胎盤や母乳から子犬に感染することがあります。
- 成虫が寄生することで、食欲不振、嘔吐、下痢、発育不良等を起こすことがあります。



犬鉤虫

- 成虫が腸管内に寄生します。
- 犬鉤虫は口から感染するだけでなく、皮膚から、そして母犬の胎盤や母乳から子犬に感染することがあります。
- 成虫が寄生することで、下痢、血便が見られ、特に子犬に寄生した場合、貧血状態から死に至ることがあります。



人にも感染する寄生虫です

- 犬回虫、犬鉤虫の寄生は、特に犬回虫が人間の子供に寄生した場合に大きな問題になることがあります。
- 犬に寄生する犬回虫・犬鉤虫を駆除することは、人間への寄生を未然に防ぐ意味でも重要なことと考えられます。



Q

なぜ、春からフィラリアのお薬をのむの？
冬はのまなくても大丈夫なの？



一年中蚊の活動が活発な地域では、冬でも犬フィラリア症の予防薬をのまなければなりません。気温が下がって蚊の活動が停止する期間はお薬をお休みすることができます。

A

Q

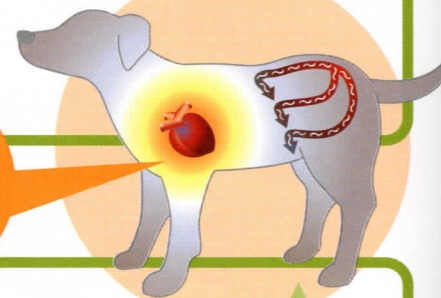
4月の上旬から蚊が見られた場合、1カ月後の5月からフィラリアのお薬をのむでしょ。
すぐにお薬をのまなくても大丈夫なの？



犬フィラリア症の予防薬は、実は犬フィラリアの幼虫を駆除する薬です。蚊が犬フィラリアの幼虫を運んで来て、それが体内に入るんだけど、すぐに薬をのまなくてもいいんですよ。幼虫が心臓に到達するには時間がかかります。蚊が活動を開始して1カ月後に投与する薬でそれまでに感染した幼虫を駆除することができるんです。

A

犬フィラリア症予防薬とは、体内移行幼虫(L4)表1を駆除することで犬フィラリアの心臓寄生を予防する薬です。



Q

毎月1回フィラリアのお薬をのむのは、お薬が1カ月効いてるからでしょ？



犬フィラリア症の予防薬は、心臓に寄生してしまう前に幼虫を駆除するために投与します。駆除効果が持続するのではなく、投薬前1カ月間に感染した犬フィラリアの幼虫を駆除するものです。効果が1カ月持続するわけではありません。

A



蚊がいないときには
フィラリアは
うつらないの?



蚊が吸血するときに犬フィラリアの幼虫を感染犬から、他の犬に運びます。蚊が吸血しない限り、犬フィラリアはうつりません。

A

冬になって
蚊が見られなくなってから
1カ月後にフィラリアの
お薬をのむのはなぜ?

蚊がいないんだから、
うつされないでしょ。
のまなくちゃだめなの?

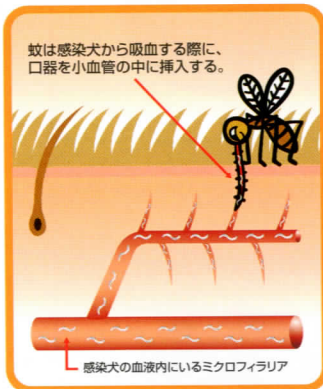


犬フィラリアの幼虫は脱皮を繰り返しながら発育して成虫になります。実は犬フィラリアの幼虫のすべての段階で100%駆除できるわけではないんです(表参照)。体内に入るときはL3、その後L4、L5と成長し、成虫になりますが、L4という発育段階以外では十分に駆除できないのです。つまり、予防薬を毎月投薬しても、実は一部の幼虫はL3のままでいるために完全には駆除できないのです。しかし、その1カ月後にはそのときに生き残った幼虫がL4に発育して

いるために、1カ月後の投薬で駆除することができのです。これが、毎月あるいはシーズンの終わりに蚊が活動を停止していても1カ月後に投薬する理由です。

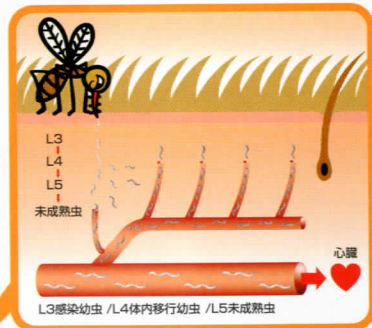
犬フィラリアの発育段階	存在場所
L1 ミクロフィラリア	感染犬の血液中 ⇒ 蚊
L2 第2期幼虫	蚊の体内
L3 感染幼虫	蚊の体内 ⇒ 犬の体内(組織)
L4 体内移行幼虫	犬の体内(組織) 予防薬はL4段階で100%駆除
L5 未成熟虫	組織 ⇒ 血管内
成虫	肺動脈・心臓

犬フィラリアの蚊への感染



A

犬フィラリアの犬体内における発育



正常犬



犬の体内における犬フィラリアの発育

- L3は3~10日で脱皮して体内移行幼虫(L4)になる。
- 体内移行幼虫は、組織内で発育し、犬への感染後70日前後で未成熟虫(L5)になる。
- 犬への感染後約120日前後で未成熟虫は血管内に侵入し心臓および肺動脈へと移行する。



先生、よくわかりました。
ちゃんとこれからも、
フィラリアのお薬を続けます。

でも、先生、
おかあさんには
内緒だけど、
ぼく錠剤が苦手なの。
のめなくて、
吐き出したことも
あるよ。



病気になってしまった時にお薬を
のまなくてはならない場合があり
ますから、錠剤をのむ練習もして欲しいけど、
角切りビーフみたいなお薬もありますよ。

A

カルドメックチュアブルPを投薬された
オーナー様にうかがいました。

チュアブルタイプのお薬の感想は?



チュアブルタイプの
満足度 **97%**

愛犬の反応はどうですか?



「喜んで」「普通に」
食べてくれました **98%**

カルドメックチュアブルPをお使いいただいているオーナー様へのアンケート調査
アンケート回答数/491件(2000年)